令和6年度 芸術科 「工芸Ⅲ」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 文系 3年A~D組 選択者
教科書	工芸Ⅱ(日本文教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

工芸の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な工芸や 工芸の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を追求し、個性を生かして 創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、工芸の伝統と文化を尊重し、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

2 学習の計画

学 期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	4	鑑賞 オリエンテーション	オリエンテーション	・工芸Ⅲを学ぶ意義	ワークシート 学習状況
	5	表現 身近な生活と工 芸	サンドブラスト	・色と形によるイメージ伝達を基に完成や創造力を働かせて感じ取ったことや考えたことから主題を生成する。 ・アイデアスケッチやデザインをする。 ・デザインカッターの取り扱い方について知る。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現	ワークシート 学習状況 課題レポート 作品
	6	表現 身近な生活と工 芸	完成・鑑賞 自由制作 ・陶芸 ・染色	方法を工夫し作業をする。 ・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。 ・工芸 I II で学んだ内容を基に、制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かしながら作業をする。	
前期	7	社会と工芸	・ ・ ・ ボラス工芸 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・手順や技法などを吟味し、個性を生かして発想し、創造的に制作する。	
	9				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	10	表現 身近な生活とエ 芸 社会と工芸	自 自 由 制 も も も も も も も ま も 大 大 大 ま ・ 七 七 七 ま の し も も も れ に も も も た も た も も も た も も も も も も も も も も も も も	作業をする。	ワークシート 学習状況 課題レポート 作品
後 期	12	鑑賞	完成・鑑賞	・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を 評価する。今後の制作に役立てる。	
	1				

3 評価の観点

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて工芸や工芸の伝統と 文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に 取り組む態度	主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、工芸の伝統と文化を尊重し、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養っている。

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価します。 (具体的内容:授業の様子、提出作品、デザインシート、感想シートなど)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

●メッセージ

工芸教育は、伝統と文化を理解しその良さを楽しむ心を育むためのものです。作業を通して先人の培ってきた知恵、技、そして感性を感じとっていただきたい。そしてこれからユニバーサルデザイン、環境を考えた上での素材など色々考えていくため学んでください。

●授業を受けるにあたって守ってほしい事項

提出物は締め切りを厳守してください。

毎回授業で行う作業が異なるため、欠席や公欠の場合は次の授業までに必ず担当者のところまで相談に来てください。